

## 相愛大学研究シーズ集

シーズ名	日本近代文学と出版文化の相関的研究
所 属	人文学部 人文学科
氏 名	荒井真理亜
<p><b>【概要】</b></p> <p>日本の近代文学を、作品・作家・出版・メディア・人的ネットワークなどの視点から、多角的に研究する。</p> <p>これまで、明治・大正・昭和に、小説家・コラムニスト・ジャーナリストとして活躍した上司小剣を研究してきた。その成果を、『上司小剣文学研究』(2005、和泉書院)や『上司小剣コラム集』(2008、亀鳴屋)などにまとめた。現在は、上司小剣の業績の全貌を明らかにするために、全著作の調査を進めている。</p> <p>また、出版文化の様相を解明するため、散逸した雑誌を探索し、『大阪文藝雑誌総覧』(共編、2013、和泉書院)や『食文化・味覚雑誌目次総覧』(共著、2015、日外アソシエーツ)を刊行した。なお、新しいテーマで雑誌の調査は継続している。</p> <p>さらに、小説と挿絵や装幀のコラボレーションに注目し、小説家と画家との協働、編集者の役割、出版社や新聞社の販売戦略などについて研究している。</p> <p>2010年より2019年まで、倉敷市の「薄田泣菫文庫調査研究プロジェクトチーム」に参加した。その成果の一部は『倉敷市所蔵薄田泣菫宛書簡&lt;作家篇&gt;』(倉敷市編著、2014、八木書店)、『倉敷市所蔵薄田泣菫&lt;詩歌人篇&gt;』(倉敷市編著、2015、八木書店)、『倉敷市所蔵薄田泣菫&lt;文化人篇&gt;』(倉敷市編著、2016、八木書店)、『薄田泣菫読本』(倉敷市・薄田泣菫調査研究プロジェクトチーム編、2019、翰林書房)に収録された。それらの研究を発展させ、現在、明治期に大阪で発行された雑誌の研究にも取り組んでいる。</p>	
キーワード	日本近代文学・書誌・出版・メディア・挿絵